

# 新学習指導要領ガイド(小学社会科)

## ▼社会科全体について

新学習指導要領（以下、新指）では、「社会的な見方・考え方」ということが強く求められるようになりました。複雑化する社会の課題を追究し、その課題を解決する思考力や判断力を身につけることが目標です。そのためには、主体的に学習し、広い視野を持つことが重要です。

また、小中高の接続がより一層強調されています。「公民としての資質・能力の基礎」を小学生の間に身につけ、中高につなげることが小学社会科の目標となっています。

## ▼小学社会科の各学年の変更点

### <小学3・4年の変更点>

現行学習指導要領（以下、現行）では、目標及び内容は「第3学年及び第4学年」と一括りとされていましたが、新指では、「第3学年」と「第4学年」に分けられて明記されています。

3年では、自分たちが住む「市区町村」についての学習をします。現行では「地図帳」が4年からの配布でしたが、新指では3年からの配布となります。地図帳を使用しながら自分の市を理解していくことが期待されています。また「市の様子の移り変わり」が新設され、「少子高齢化」などと関連付け、今後の市の発展について考える学習を行います。

4年では、「都道府県」を中心に学習します。それに伴い、国語科で4年で都道府県の漢字を学習することになりました。その他、県内の「自然災害」「文化財や年中行事」を4年で学習することになりました。

### <小学5・6年の変更点>

5年で学習する日本全体の地形や産業のうち、「領土の範囲」に関しては、現行は北方領土のみについての記載でしたが、新指では、竹島・尖閣諸島について「我が国固有の領土であることに触れること」と明記されています。また「情報」に関しては、「情報ネットワーク」から「情報産業」へ変更されています。大量の情報（ビッグデータ）が産業に与える影響などを学習します。

6年では、新指より歴史の前に政治を学習することになります。この変更は、選挙権が18歳以下に引き下げられたことから、主権者教育を重要視することの影響です。現在の日本国憲法や政治をまず学習し、その後、歴史的な政治の移り変わりを学習するという流れになります。また「日華事変」が「日中戦争」に変更されているように、歴史上の人物や用語の表記に変更されているものもあります。

### ●変更点のまとめ

3年	<ul style="list-style-type: none"><li>・地図帳を3年から配布</li><li>・「市の移り変わりの様子」が追加</li><li>・「消防や警察のはたらき」が4年から移動</li><li>・「地域に伝わる行事」が削除</li></ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"><li>・「県内の文化財や年中行事」が追加</li><li>・「災害の防止」が追加</li><li>・「消防や警察のはたらき」が3年へ移動</li></ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"><li>・竹島、尖閣諸島が日本の領土であることを明記</li><li>・「情報」単元の充実</li></ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"><li>・学習順序が「①政治→②歴史→③国際」(政治が先習に)</li><li>・一部の表記が変更 「日華事変」→「日中戦争」 「歌川(安藤)広重」→「歌川広重」</li></ul>